指揮
角田鋼亮
Kosuke Tsunoda, Conductor

林英哲「飛天遊」&角田鋼亮「英雄の生涯」

豪華絢爛！太鼓×オーケストラ！

太鼓
林 英哲
Eitetsu Hayashi, Taiko

HYOGO PAC Performing Arts Center ORCHESTRA

No. 150

兵庫芸術文化センター管弦楽団
第150回定期演奏会

ハイドン：交響曲 第103番 変ホ長調「太鼓連打」Hob.I:103
Joseph Haydn : Symphony No.103 in E flat major, Hob.I:103, "Drumroll"

松下 功：和太鼓協奏曲「飛天遊」
Isao Matsushita : "Hi-Ten-Yu", A Concerto for Japanese Drum and Orchestra

R.シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」op.40, TrV190
Richard Strauss: Ein Heldenleben (A Hero's Life), op.40, TrV190

管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団

2024 5/10(金)・11(土)・12(日) 3:00PM開演 (2:15PM開場)

A4,000円 B3,000円 C2,000円 D1,000円 (全席指定・税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ／JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 10:00am-5:00pm 月曜休み ※祝日の場合翌日 0798-68-0255

一般発売 2/18(日)

チケット予約
●芸術文化センター 0798-68-0255 https://www.gcenter-hyogo.jp
●チケットぴあ https://pia.jp/t/ ●ローソンチケット https://l-tike.com ●イープラス https://eplus.jp

芸術文化センター会員先行予約受付開始 2/16(金)

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター【2/20(火)より、残席がある場合のみ】

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫県立芸術文化センター

関西から文化力

No.150

PACとはジルヴェスター・ガラ・コンサート等で共演を重ね、今最も注目される若手指揮者の一人である角田鋼亮がPAC定期初登場。全3曲をお届けします。

1曲目はハイドンの交響曲103番「太鼓連打」。第1楽章でティンパニが静かに連打されるところから「太鼓連打」の呼び名がついた、ハイドンの交響曲の代表作の一つです。次の松下功作曲・和太鼓協奏曲「飛天遊」では、大小さまざまな和太鼓が登場!太鼓の可能性を開拓し続け、世界的に活躍する太鼓奏者・林英哲をソリストに迎えます。2000年にベルリン・フィルとの共演で2万人を超える聴衆を圧倒させた和太鼓の響きを、ぜひ体感してください。

最後にお届けするのはR.シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」。作曲家自身がモデルになったとも言われる「ある英雄」の生涯が、大編成のオーケストラによって描かれます。どの楽器にも聴かせどころがあり、演奏者の技量を楽しめるのも魅力の一つです。

東西の太鼓の魅力と大迫力のオーケストラを一度に楽しめる豪華プログラムに、どうぞご期待ください。

指揮：角田鋼亮 Kosuke Tsunoda, Conductor

©Makoto Mamiya

東京藝術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクールで第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団などと共演している。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市立文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。2018年よりセントラル愛知交響楽団常任指揮者を務めている。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2024年度よりセントラル愛知交響楽団音楽監督に就任予定。

太鼓：林 英哲 Eitetsu Hayashi, Taiko

©M.Tominaga

「佐渡・鬼太鼓座」「鼓童」の創設に参加。11年間のグループ活動の後、1982年にソロ活動を開始。1984年、初の和太鼓のソリストとしてカーネギーホールにデビュー。2000年にはドイツのワルトビューネでベルリン・フィルと共演。日本の伝統にはなかった大太鼓ソロ奏法の創造、多種多様な太鼓群を用いた独自奏法の創作など、前例のない太鼓ソリストという分野を開拓し、新しい音楽としてのオリジナリティあふれる太鼓表現を築きあげている。2016年は演奏活動45周年、17年はソロ奏者として35周年を迎え、サントリーホールで記念公演を開催した。著書に、増補新装版「あしたの太鼓打ちへ」(羽鳥書店2017年10月発売)。書き下ろし自伝「太鼓日月〜独走の軌跡」(講談社)。1997年芸術選奨文部大臣賞、2001年日本伝統文化振興賞、2017年松尾芸能賞大賞を受賞。東京藝術大学客員教授、筑波大学大学院非常勤講師。2020年、NHK大河ドラマ『麒麟がくる』のメインテーマにソリストとして参加。PACとは2011年3月、定期演奏会にて共演。

管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。 **https://hpac-orc.jp**

兵庫芸術文化センター管弦楽団 公式SNS

YouTube

Facebook @HPACorchestra

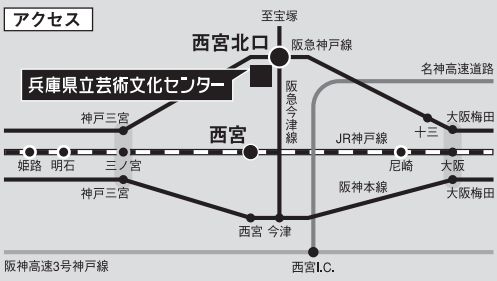
X @hpac_orchestra

Instagram @hpac_orchestra

https://www.gcenter-hyogo.jp

兵庫県立芸術文化センター Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!
詳しくは、https://www.gcenter-hyogo.jp

便利なアクセス!!
大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。